

各位

遠鉄グループ平成 23 年度決算及び遠州鉄道株式会社の組織変更 ならびに遠鉄グループの人事異動について

1. 遠鉄グループ平成 23 年度決算について（別紙のとおり）

- (1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- (2) 業績推移(連結決算・セグメント別売上高)
- (3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容

2. 遠州鉄道株式会社の組織変更について(平成 24 年 6 月 1 日付)

運輸事業本部の変更の主な内容

- ①「運輸事業部」の「営業課」を「観光営業課」に名称変更し「観光サービス事業部」の管轄とする。
- ②「運輸事業部」に「運輸総務課」を新設する。
- ③「運輸事業部」の「乗合課」を「運輸営業課」に名称変更する。
- ④「中遠観光営業所」の機能を、磐田営業所に統合する。

保険事業本部の変更の主な内容

- ①「保険営業部」に「生命保険営業三課」を新設する。

3. 遠鉄グループの人事異動について(別紙のとおり)

- (1) 遠州鉄道株式会社の役員人事(平成 24 年 6 月 28 日付)
- (2) 遠州鉄道株式会社の管理職人事(平成 24 年 6 月 1 日付)
- (3) 遠鉄グループ各社の常勤役員の人事(平成 24 年 6 月 15 日付)

1. 遠鉄グループ平成 23 年度決算について

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響による一時的な落ち込みから持ち直しの動きが見られたものの、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、欧州政府債務危機や円高の長期化など、景気の先行きを巡る不確実性が依然として大きいままで推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは昨年11月に、かねてより建設を進めてまいりました遠鉄百貨店新館をオープンいたしました。

また、介護事業や遠鉄ストアで新たな拠点を設けるなど地域社会のニーズに対応するとともに、不動産事業では菊川地区の開発に着手するなど、一層の経営基盤の強化に努めてまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高1,551億6千2百万円(前連結会計年度比6.3%増加)、経常利益35億8千万円(前連結会計年度比1.0%増加)、当期純利益は17億3百万円(前連結会計年度比65.7%増加)となりました。

また、遠州鉄道単体における営業収入につきましては、340億7千9百万円(前期比15.1%増加)、経常利益につきましては、21億2千6百万円(前期比14.6%減少)、当期純利益につきましては、12億8百万円(前期比65.8%増加)となりました。

(1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

① 運輸事業(鉄道事業・バス事業・タクシー事業など)

鉄道事業におきましては、助信駅～馬込川交差付近の高架化延伸事業が本年秋の開通に向けて順調に進捗するとともに、昨年10月には小林駅～芝本駅間の約1.1キロにおいて国道152号線の道路改良事業に伴う高架化工事が完了いたしました。

乗合バス事業におきましては、高速路線バス「イーライナー」にて、大阪線の運行を開始いたしました。また、主要路線で日中のダイヤ増強を実施し、利便性向上に努めました。

貸切バス事業におきましては、「安全・安心」の更なる向上に努めた結果、日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」にて、安全事業者に認定されました。

タクシー事業におきましては、環境に配慮したハイブリッド車35台をはじめ、車両83台を更新いたしました。

以上の結果、運輸事業の売上高は、155億7千5百万円(前連結会計年度比0.4%増加)となりました。

② レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、バンビツアーにて、行先が旅行当日までわからないミステリーツアーなど、日帰りコースを中心にお客様の需要に合った商品作りを行い、利用人員の拡大に努めました。また、遠鉄トラベルでは、創立60周年を記念したチャーター便ツアーを販売したほか、「観光プラザ」移転や、「天王店」オープンを実施するなど、収益の拡大を図りました。

ホテル・旅館業におきましては、ホテル九重では、うなぎ専門店「割烹曳馬野」の営業を開始し昼食の充実を図ったほか「お祝いプラン」など宿泊プランの拡充に努めました。

ホテルウェルシーズン浜名湖・日帰り温浴施設「華咲の湯」では、えんてつカード会員特別料金を新設するなど、お客様の利用促進に努めました。

ホテルコンコルド浜松では、婚礼料理を刷新するとともに、新郎新婦のお2人がゆっくりとお過ごしいただける「ブライズルーム」4部屋を浜松市内のホテルとして初めて導入するなど、婚礼の販売促進に

努めました。

しかしながら、東日本大震災の影響もあり、レジャーサービス事業の売上高は、107 億9千8百万円（前連結会計年度比 1.3%減少）となりました。

③ 商品販売事業（百貨店業、食品スーパー業、自動車販売業、石油製品販売業）

百貨店業におきましては、昨年 11 月に遠鉄百貨店新館をオープンするとともに、本年3月には本館のリニューアルも完了し、グランドオープンを迎えることができました。

新館では、新たな顧客層の拡大を図るべく、スイーツや喫茶を中心とした食品部門の充実、若年層に人気があるブランドの導入などを実施いたしました。

本館では女性のお客様に支持の高い化粧品・婦人アクセサリ・特選ブティック・婦人雑貨のフロアや、リビング用品のフロアをリニューアルいたしました。

また、本館と新館を5層にわたり結ぶ「イ・コ・イ スクエア」及び、両館の間に整備された全天候型のイベント広場「ソラモ」は、休憩したり楽しんだりと自由にご利用いただくとともに、両館の一体感創出に大きく貢献しております。

食品スーパー業におきましては、遠鉄ストア 29 店舗目となる「フードワン高林店」をオープンしたほか、「桜台店」をリニューアルし、収益の拡大を図りました。

自動車販売業におきましては、「プリウスα」や「アクア」の新型ハイブリッド車が好評をいただき、受注台数実績を大きく伸ばしました。

石油製品販売業におきましては、コンビニエンスストアを併設した大型セルフ店、「赤松坂SS」をオープンするとともに、レンタカーなど石油製品以外の取り扱いを推進し、収益の拡大を図りました。

以上の結果、商品販売事業の売上高は、1,042 億3千万円（前連結会計年度比 4.4%増加）となりました。

④ 不動産事業（不動産業、建設工事業）

不動産事業におきましては、当社鉄道線沿線の「ブライトスクエア小松駅東」をはじめ、分譲住宅 112 棟、分譲土地 91 区画を販売いたしました。

注文住宅では、天竜産の無垢材を多用した新商品「木葉香（きばこ）」や、企画型住宅「Bright」・「楽々収納の家」のモデル邸を建築するなど販売促進に努めた結果、過去最高の 138 棟をお引渡しいたしました。

分譲マンションでは、「ブライトタウン磐田中泉・I 期」の 58 戸、及び菊川市初の分譲マンション「ブライトタウン菊川」の 45 戸ほか、合計 117 戸のお引渡しをいたしました。

以上の結果、不動産事業の売上高は、155 億5千7百万円（前連結会計年度比 23.9%増加）となりました。

⑤ その他の事業（保険代理業、自動車運転教習業、人材派遣・業務請負・ビル管理業、情報提供・情報処理サービス業など）

保険代理業におきましては、来店型保険相談コーナーとして遠鉄ストア掛川中央店に「掛川中央サービスショップ」を、また、遠鉄百貨店新館7階に「遠鉄百貨店サービスショップ」をオープンし、お客様の利便性向上に努めました。

自動車運転教習業におきましては、2社5校体制への企業再編を行い、経営の効率化とシナジー効果の発揮を図りました。

介護事業におきましては、袋井市にて介護付有料老人ホームとデイサービスの複合施設「ラクラス

可睡の杜」を、また浜松市にて日帰りをご利用いただく施設「ラクラス富塚 デイサービス」をオープンし、事業の拡大とサービスの充実を図りました。

以上の結果、その他の事業の売上高は、89億9千9百万円（前連結会計年度比26.8%増加）となりました。

(2)業績推移

① 連結決算

(単位:百万円)

	H22 年度	H23 年度 (当期)	H22 年度 比	H24 年度 計画	H23 年度 比
売上高	145,951	155,162	106.3%	164,000	105.7%
営業利益	3,491	3,373	96.6%	3,500	103.8%
経常利益	3,546	3,580	101.0%	3,500	97.8%
当期純利益	1,027	1,703	165.7%	1,800	105.7%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

② セグメント別売上高

(単位:百万円)

	H22 年度	H23 年度 (当期)	H22 年度 比	H24 年度 計画	H23 年度 比
運輸事業	15,511	15,575	100.4%	15,700	100.8%
レジャーサービス事業	10,943	10,798	98.7%	10,900	100.9%
商品販売事業	99,841	104,230	104.4%	114,200	109.6%
不動産事業	12,558	15,557	123.9%	14,200	91.3%
その他の事業	7,096	8,999	126.8%	9,000	100.0%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(3)遠鉄グループ各社の主な事業内容(平成24年3月31日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)、浜松観光バス(株)
	自動車整備、関連サービス業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)、遠鉄交通(株)
レジャーサービス事業	旅行業	遠州鉄道(株)、(株)遠鉄トラベル
	ホテル・旅館業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)、 (株)ホテルコンコルド浜松
商品販売事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア、(株)遠鉄ストア鮮魚
	自動車販売業	ネットヨタ浜松(株)、(株)ヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
その他の事業	保険代理業	遠州鉄道(株)
	食品検査事業	遠州鉄道(株)
	介護事業	遠州鉄道(株)
	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校、(株)浜松自動車学校
	健康スポーツ業	遠州鉄道(株)
	人材派遣業、業務請負業、ビル管理業	遠州鉄道(株)、遠鉄アシスト(株)
	情報提供・情報処理サービス業	遠鉄システムサービス(株)

3. 遠鉄グループの人事異動について

◆遠州鉄道株式会社 役員(6月28日付)

新職	旧職	氏名
遠州鉄道 専務取締役【昇任】 グループ経営推進本部長	遠州鉄道 常務取締役 グループ経営推進本部長	斉藤 薫
遠州鉄道 常務取締役【昇任】 兼 遠鉄百貨店専務取締役管理本部長	遠州鉄道 取締役 兼 遠鉄百貨店専務取締役管理本部長	太田 勝之
遠州鉄道 取締役(本部長待遇)【昇格】 兼 遠鉄観光開発 取締役社長	遠州鉄道 取締役 兼 遠鉄観光開発 取締役社長	加茂 敬夫

◆遠州鉄道株式会社 管理職(6月1日付)

新職	旧職	氏名
総務部長【昇格】	総務部次長	丸山 晃司
(出向)遠鉄観光開発 ホテルウェルシーズン浜名湖総支配人 (部長待遇)【昇格】	(出向)遠鉄観光開発 ホテルウェルシーズン浜名湖総支配人 (次長待遇)	小野田 剛久
運輸事業部次長 兼 運輸総務課長	運輸事業部次長 兼 管理課長	諸井 宏司
観光サービス事業部次長【昇格】 兼 観光営業課長	運輸事業部 営業課長	米田 典弘
(出向)遠鉄ストア 開発部長(次長待遇)【昇格】	(出向)遠鉄ストア 開発部長(課長待遇)	杉山 公一
人事部 人事政策課長【昇格】	運輸事業本部 鉄道営業所副所長	佐藤 友
運輸事業部 運輸営業課長 兼 ターミナル営業所長	運輸事業部 乗合課長	菅沼 澄則
運輸事業部 管理課長【昇格】	運輸事業部 管理課 管理長	藤森 常雄
運輸事業本部 雄踏営業所長	(出向)浜松観光バス 業務部長	石田 浩
保険業務部 損害保険企画課長	保険営業部 生命保険サービス課長	大隅 智
保険営業部 生命保険営業3課長	保険業務部 損害保険企画課長	渡辺 一則
保険営業部 生命保険サービス課長【昇格】	保険業務部 生命保険企画課 副課長	鈴木 洋志
(出向)浜松観光バス 業務部長	人事部 人事政策課長	西郷 謙司
(出向)遠鉄健康保険組合 副事務長	運輸事業本部 雄踏営業所長	大上 充二

◆遠鉄グループ 常勤役員の異動(6月15日付)

新職	旧職	氏名
ネットトヨタ浜松 専務取締役営業本部長【昇任】	ネットトヨタ浜松 常務取締役営業本部長	中野 克己
遠鉄ストア 専務取締役営業本部長【昇任】	遠鉄ストア 常務取締役営業本部長	原田 定男

◆遠鉄グループ 任期満了による常勤役員の退任(6月15日付)

旧職	氏名
ホテルコンコルド浜松 取締役	北澤 友一
遠鉄システムサービス 取締役	高田 孝夫